様式３（2020.08改）

作成日　令和2年10月29日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2374700223
事業所名	グループホーム岩倉一期一会荘

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	これまで積極的に参加していた地域行事が中止となり、認知症サポーター養成講座をはじめとする地域交流や連携の取組みも中断している。 ボランティアの来訪もストップしているが、訪問理・美容に関しては、これまでの週に1回から2ヶ月に1回と、来訪頻度を落として受け入れている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	令和2年2月に通常の運営推進会議を開催し、以後は書面開催となっている。 前回の運営推進会議の議事録と、ホームの状況や活動を報告する文書を作成し、会議メンバーに送付している。 それらと併せて「意見聴取書」と返信用の封筒を同封し、会議メンバーから意見を収集している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	書面開催となっている運営推進会議に、市・長寿介護課の担当者や地域包括支援センターの職員から意見（「意見聴取書」）が届いている。 「意見聴取書」には、新型コロナウイルス感染症に対する適切な情報提供や激励の言葉が記述されている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	コロナ禍により家族の面会を感染拡大の状況に応じて制限しており、家族会も書面開催となった。 利用者と家族との接点を断たないため、電話やリモート面会、窓越し面会等の措置を取り、現在は玄関での1家族2名15分以内の制限つきで面会が可能となっている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

書面開催とし、前回の運営推進会議の議事録と、ホームの状況や活動を報告する文書を作成し、会議メンバーに送付している。
それらと併せて「意見聴取書」と返信用の封筒を同封し、会議メンバーから意見を収集している。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎										